

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年3月29日

【会社名】 株式会社IMAGICA GROUP

【英訳名】 IMAGICA GROUP Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 社長執行役員 布施 信夫

【本店の所在の場所】 東京都港区海岸一丁目14番2号

【電話番号】 03-5777-6300(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 常務執行役員 森田 正和

【最寄りの連絡場所】 東京都港区海岸一丁目14番2号

【電話番号】 03-5777-6300(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 常務執行役員 森田 正和

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

2022年3月29日開催の取締役会決議により、当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

2022年3月29日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

連結決算における特別損失の計上

当社の連結子会社であるPPC Creative Limitedは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、今後の計画を慎重に見直した結果、当初想定していた収益を見込むことができなくなったため、のれん等の減損損失を特別損失に計上する見込みとなりました。また、当社グループが保有する一部の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能価額を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を特別損失に計上する見込みとなりました。

個別決算における特別損失の計上

上記 のれん等の減損損失計上に伴い、当社は2022年3月期の個別決算においてPPC Creative Limitedに係る関係会社株式評価損を特別損失に計上する見込みとなりました。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2022年3月期の連結決算においては減損損失として特別損失に12.8億円（概算金額）を、個別決算においては関係会社株式評価損として特別損失に6.9億円（概算金額）を計上する見込みです。なお、関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。